

行政視察報告書

議会運営委員長 寺島芳枝

1 日にち	令和6年10月22日（火）
2 視察先	千葉県柏市
3 参加者	【委員長】寺島芳枝【副委員長】井上あけみ【委員】獅子野真人、加藤智章、片山竜美、玉置真一、奥村孝宏、吉田企貴 【議会事務局】臼武徹也
4 調査内容	議会DX・デジタル化の取組について
5 所感、主な質疑の内容、提言事項、課題等	議会改革の一環として、平成22年より、市民に分かり易い議会を目指すため、議場・委員会室の設備を整え採決システムの導入（インターネット配信対応、スクリーン表示可）、スクリーン、プロジェクターを導入。 令和3年3月には、タブレット端末（iPad）、ペーパーレス会議システムを導入され、9月にはコロナ禍も受け、議会運営委員会でオンライン委員会を開始する。 令和4年3月には、コロナ禍を背景に委員会室の改修工事の実施、委員会中継を実施されるなど、絶えず進めてこられ、環境の変化に都度対応をされてこられている事に敬意を表す。タブレットにて資料の掲示をして頂き文字を大きくする事ができ、利便性を実感することができた。 議員36名 1期～3期まで18名 平均年齢55.7歳 質問事項 1. 議会DX・デジタル化の目的 タブレットの導入により議案、資料等のペーパーレス化を図るとともに、事務局及び議員間の連絡通信手段等で活用する。オンライン会議の開催により新型コロナウイルス感染症拡大防止等を図るとともに、感染拡大が深刻な状況になった場合においても議会機能を継続させることをめざす。 2. 具体的なデジタル技術の導入状況① 令和3年2月～ タブレット端末iPad Pro12.9インチ セルラーモデル・・・庁舎外でも使用可能。A4サイズで見やすい。 3. 具体的なデジタル技術の導入状況② 令和3年2月～ ペーパーレス会議システム SideBooks(サイドブックス)の導入・・・1年間200枚のペーパーレスと職員の仕事量の軽減に繋がった。 4. 具体的なデジタル技術の導入状況③ 令和3年2月～ グループウェア LINEWORKS(ラインワークス)の使用 5. 具体的なデジタル技術の導入状況④ 令和4年3月～ YouTubeによる常任委員会のインターネット中継 6. 議会における検討体制・検討状況 令和元年頃より複数議員から、議会においてタブレット端末を導入すべきと出始める。（議会運営委員会による先進地視察）

	令和2年4月総務省通知 議会の委員会をオンラインにより開催する事は差し支えない旨の見解が示されたことが後押しとなり、令和2年8月委員会をオンラインで開催するためのハード面の整備として、令和3年度から導入予定のタブレット端末について、令和2年度中の整備を決定。令和2年9月（9月議会招集日）規則・委員会条例を改正。 ※オンライン委員会は、コロナ禍を背景に令和2年総務省通知を受け、9月に会議規則、委員会条例を改正し、令和3年8月議会運営委員会にて初のZOOMによるオンライン委員会の実施に至る。あくまでも、感染症や大規模災害を想定しているため、議員の自己都合、介護や子育てによるものは今後の課題と捉えている。よって、新型コロナウイルス感染症5類移行後は、開催していない。（令和4年12月定例会を最後） ※令和6年2月より、毎年1回の練習会の開催を行うこととしている。
6 写真等	

※視察先1件に1枚作成すること。